

第45回「全日本中学生水の作文福島県コンクール」募集案内

福島県では、水の日（8月1日）及び水の週間（8月1日～7日）の行事の一環として、広く水に関する関心を高め、理解を深めることを目的として、本県の次代を担う中学生を対象とした水の作文コンクールを次のとおり実施します。

1 テーマ

「水について考える」（題名は自由）

水は、私たちの生活に欠かせないものであり、あらゆる生命の源になっています。

福島県でも、浄水（水道水）はもとより、各地で湧き出しているおいしい飲料水、農業用水や発電などの産業資源、水上スキーや海水浴などのレジャーに水が役立っているとともに、尾瀬や猪苗代湖、阿武隈川などの豊かな水環境はさまざまな生命を育んでいます。その一方で、時に水は台風による洪水や水不足などにより、人々の生活をおびやかすという側面も持っています。

中学生のみなさんも、これまで身近な水環境にふれたことや、水にかかわる日常生活での経験、学校で学んだことなどがあることと思います。この機会に、日常生活での経験や家庭、学校で学び聞いた話などをもとに、今一度、水を見つめ直し、水について考えたことを作文にしてみましょう。

※別表に「経験や学んだことのイメージ」をまとめてみましたので参考としてください。

2 応募資格

県内の中学生（令和5年度に県内の中学校に在学中の者）

3 原稿

400字詰原稿用紙4枚以内

（日本語により表記された個人作品で未発表のものに限ります。）

4 応募締切日

令和5年2月28日（火）到着分有効

5 応募方法

- (1) 作文には、本文の前（原稿用紙枠内）に題名、学校名（ふりがな）、学年、氏名（ふりがな）を記入のうえ、学校経由または直接応募してください。
- (2) 学校からの応募の場合、「応募者一覧表」を添付してください。

6 応募及び問い合わせ先

〒960-8670 福島市杉妻町2-16（住所記入不要）

福島県 企画調整部 復興・総合計画課

電話（024）521-7123（直通）

7 審査

- (1) 全日本中学生水の作文福島県コンクール（以下、「県コンクール」という。）の審査

令和5年5月下旬までに審査を行い、入賞作文（優秀賞5編以内、入選10編程度）を選定します。このうち優秀賞については、本県代表として国が行う第45回「全日本中学生水の作文コンクール」へ応募します。

また、優秀な作品を多数応募した学校及びコンクールに積極的な取組をした学校を学校賞に選定します。

- (2) 全日本中学生水の作文コンクール（以下、「国コンクール」という。）の審査
令和5年7月中旬に国の中央審査会において審査が行なわれ、入賞作文が決定されます。

8 賞及び副賞

- (1) 県コンクール

- ・優秀賞 5編以内 賞状、副賞
- ・入選 10編程度 賞状、副賞
- ・学校賞 若干校 賞状
- ・参加賞 応募者全員 記念品

- (2) 国コンクール

- ・最優秀賞 1編 賞状、副賞（内閣総理大臣賞）
- ・優秀賞 9編程度 賞状、副賞（厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞ほか）
- ・入選 30編程度 賞状、副賞
- ・佳作 応募作品 記念品

9 入賞発表

- (1) 県コンクール

令和5年5月下旬に所属学校を通じて入賞者へ通知します。

- (2) 国コンクール

令和5年7月上旬に所属学校を通じて入賞者へ通知します。

10 賞状等の授与

(1) 県コンクール

入賞者及び学校賞受賞校については、表彰式において賞状及び副賞を授与します。

(2) 国コンクール

最優秀賞及び優秀賞の受賞者は、国土交通省より「水の日」の行事に招待され、賞状及び副賞が授与されます。入選者等へは、賞状及び副賞又は記念品が所属学校を通じて送付される予定です。

11 作文集等

県コンクールの入賞作文を集めた作文集を作成し、中学校等へ配布します。

また、入賞作文は福島県復興・総合計画課のホームページに約1年間掲載します。

12 応募上の注意

(1) 入賞作文については、作文のほか、記載された学校名・学年・氏名を福島県ホームページや作文集に掲載するほか、報道機関を含めた関係者へも提供することとなりますので、予め御承諾の上、御応募下さい。

(2) 応募作文の使用権は、福島県に帰属します。

ただし、国コンクールに応募した作文の使用権は水循環政策本部及び国土交通省に帰属します。

(3) 応募作文の返却は行いません。

(4) 応募作文に記載の個人情報、本コンクールの運営に必要な範囲内で利用します。応募者の同意なく、利用目的を超えて利用することはありません。

13 その他

主 催：福島県

後 援：福島県教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM

(別表)

経験や学んだことのイメージ

項目	イメージ
・自然 ・植物 などから	家の裏山とそこを流れる沢水から考えたこと
	ふるさとの自然や水生生物から水について考えたこと
	家族で身近にある川や湖に行ってみて水について考えたこと
・日常生活 ・学校生活 などから	家族とする食器洗いの手伝いから水について考えたこと
	毎日の食事で飲んでいる水、料理に使う水から考えたこと
	夏休みに家族で海に行った思い出から水について考えたこと
	友達と川で遊んだ経験から水について考えたこと
	水質検査や水生生物採取などの活動から水について考えたこと
	学校にある花壇への水やりから水について考えたこと
	海外旅行に行ってみて、海外と日本の水の違いから水について考えたこと
	ダムや堤防、浄水場や下水処理場の施設見学を通して水について考えたこと
	川や湖（阿武隈川、夏井川、猪苗代湖など）の清掃活動から水について考えたこと
	森林環境学習やキャンプなどの体験を通して水について考えたこと
	自宅で使っている井戸水や近所の湧水から水について考えたこと
普段飲んでいる水道水から水について考えたこと	
・見たこと ・聞いたこと ・本 ・テレビ ・SNS などから	おじいさんが米づくりで使っている水から考えたこと
	飲み水としてペットボトルを買っている現状から水について考えたこと
	水にまつわることわざや格言、地域に伝わる歴史や風習から水について考えたこと
	水が支える私達の暮らしと未来に向けた水の使い方について考えたこと
	工業用水（ものづくり）や水力発電など水の使い方について考えたこと
	雨水や山に積もった雪から水について考えたこと
	海洋プラスチック汚染など、環境問題のニュースから水について考えたこと
地球にある水のことを書いてある本を読んでみて考えたこと	
災害などから	大雨や洪水（水害）のニュースから水について考えたこと

第45回「全日本中学生水の作文福島県コンクール」応募一覧表

中学校

ご担当者様氏名：

電 話 番 号：

ファックス番号：

メールアドレス：

【生 徒 数】

- 本年度（令和4年度）における1年生及び2年生の全生徒数を記載願います。

在籍生徒数	合 計	1 年 生	2 年 生	備 考

- 作文を応募していただいた生徒数を記載願います。

応募生徒数	合 計	1 年 生	2 年 生	備 考

【応募者一覧表】

※記入欄が不足する場合は、複写にてご対応願います。

番号	学年	(ふりがな) 氏 名	備考	番号	学年	(ふりがな) 氏 名	備考
		()				()	
		()				()	
		()				()	
		()				()	
		()				()	
		()				()	

(裏面に続く)

